

チーム開発演習

～ホテル予約サイト ©Tayutora～

Bチーム

道倉江美里、中嶋翔太、渡辺佑也、菅澤太智、上原明日香

目次

1. チーム目標と達成度
2. 要件定義
3. 作成物概要
4. デモ
5. 工夫した点
6. 苦労した点
7. 今後の課題
8. 個人の振り返り



1. チーム目標と達成度

チーム目標と達成度

達成度

80%

理由:

顧客要件の、特に重要な機能を全て実現させることができましたが、デザインが不十分なところがある。全体の繋がりが不十分である。想定されていない値が入力された場合の挙動が不十分である。



2. 要件定義

要件定義

ホテルの予約システム

受注元

Aチーム

概要

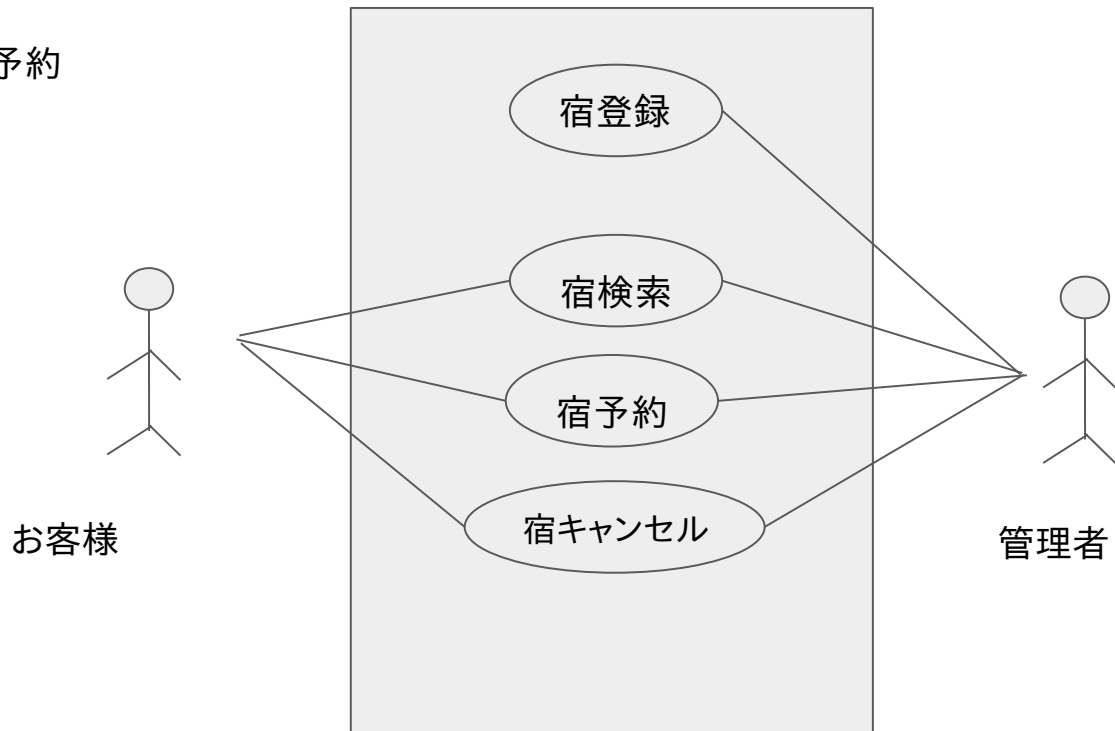
- ・空いている部屋の予約
- ・部屋の管理
- ・ログイン機能
- ・新規ホテルの作成



3. 作成物概要

ユースケース図

宿予約



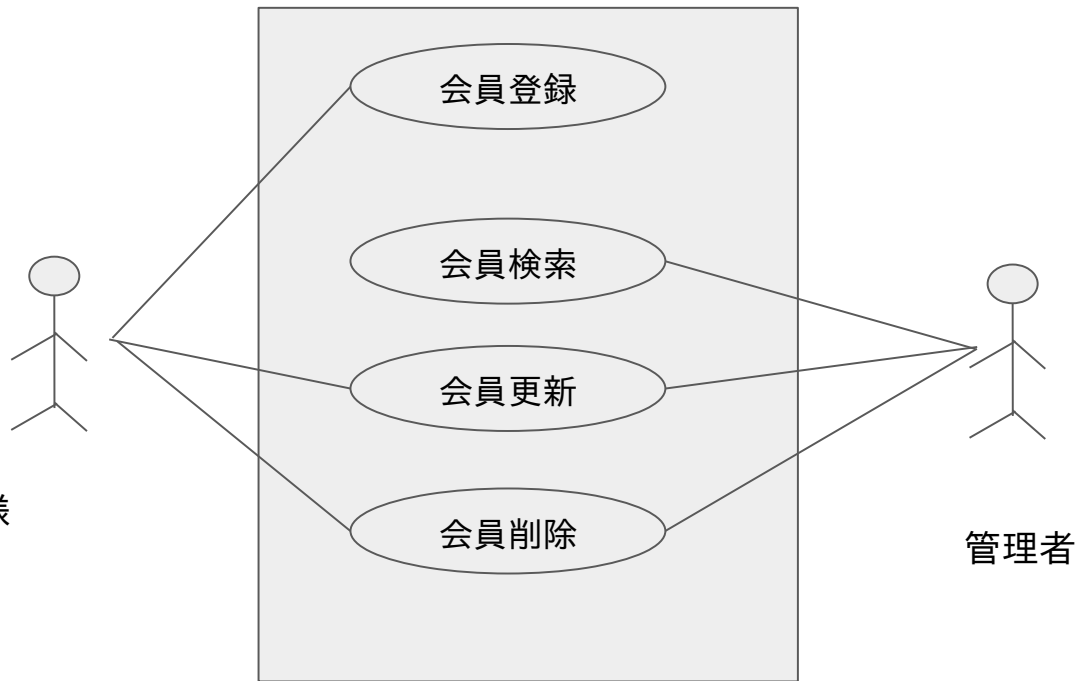
お客様

管理者

ユースケース図

会員登録

お客様



管理者



4. デモ



5.工夫した点

工夫した点

- 機能ごとの役割分担
- 同じページで管理者とユーザの区別
- 管理者側の画面に予約された部屋の出力
- 見栄えのいいページの作成

Tayutora あ 予約の確認 ログアウト

すべて表示 検索

ホテル一覧

年/月/日 検索

code	ホテル名	ホテルの場所	タイプ	値段
2	B HOTEL	千葉県船橋市若松2-2-2	竹	2000円
3	C HOTEL	神奈川県横浜市中区1-3	梅	3000円
10	A HOTEL	東京都墨田区押上1-1-2	竹	111円

©tayutora

Tayutora 鈴木一朗 予約の確認 新規ホテル 予約状況の確認 ユーザー情報 ログアウト

すべて表示 検索

ホテル一覧

年/月/日 検索

code	ホテル名	ホテルの場所	タイプ	値段	削除
2	B HOTEL	千葉県船橋市若松2-2-2	竹	2000円	削除
3	C HOTEL	神奈川県横浜市中区1-3	梅	3000円	削除
10	A HOTEL	東京都墨田区押上1-1-2	竹	111円	削除

©tayutora



6. 苦労した点

苦勞した点

- データベースの設定
- プログラムの作成
- Gitによるファイルの共有
- 適切な調べ方が分からずに苦勞した
- プログラム同士の結合





7. 今後の課題

今後の課題

- 言語の規則に沿った適切な記述(宣言)
→DBで”_”を用いるとエラーの要因
- 設計書を正確に仕上げる
→結合が不可能
- 相手の要望を言語化してチームでの共有
→チームでの個々の相違を防ぐ





8. 個人の振り返り

道倉 江美里(PL)

個人目標と達成度

・目標

各開発の段階のスケジュールを守れるように進捗管理をすること
スケジュール管理をしながら、一人ひとりに指示を出すこと

・達成度: 90%

・理由

各段階でスケジュールが前倒しになったためです。
充分時間があったため、この達成度にしました。

・反省点

設計書を立てる時に、もう少し時間をかけてすべきでした。
プログラムの作成段階で設計書の変更が所々あったことです。
もう少し、グループ内で話し合えばよかったかなと思います。

学んだ点と配属に向けての意気込み

・学んだ点

初めて作成する設計書の大変さと重要度
プログラムを作ることの大変さ

・意気込み

分からないことはネットで調べたり、知らなくてもわからなかった場合、会社の先輩方に聞くなどして与えられた役割を、尽力して取り組みたいと思います。

中嶋 翔太(TL)

個人目標と達成度

・目標

今までの経験を活かし、テクニカルリーダーとして役割を果たす。また、チーム内のデバッグを率先して行う。

・達成度:90%

・理由

個々でコードを作成し実行する際に、講師に頼らず自分の経験を活かしてデバッグをすることができたため。

・反省点

設計書で記述ミスや相違が生じ、コードの結合する際にデバッグが困難になったため今後設計書を作成する際には誤りの内容に作成したいです。

学んだ点と配属に向けての意気込み

・学んだ点

コミュニケーションをとる

設計書を正確な物に仕上げる大切さ

休息をきちんととる

・意気込み

きちんとコミュニケーションをとり、自分で考えてもわからない場合具体的に何がわからないのかを明確にし相談をし、解決するようにしたいです。また、集中しすぎてしまうと休息を取らずに作業してしまうため、休息を取りメリハリをつけて作業に取り組みたいと思います。

上原 明日香 (TestL)

個人目標と達成度

・目標

分からないことを放置せずに人に頼ること

・達成度: 80%

・理由

分からないことがあった時、先生やメンバーに聞く、もしくは自分で調べることができたからです。

・反省点

自分で考えてから聞くようにしていましたが、今後もう少し自分で考える時間を増やしたいです。

学んだ点と配属に向けての意気込み

・学んだ点

分からないことをいつまでも悩むより人に聞いたほうが早く解決する、ということです。また、不安があれば分かる人に確認しながら作業することの大切さを学びました。

・意気込み

配属先では、聞くタイミングに気をつけながら考えすぎず、人に適度に頼るようにします。

菅澤 太智(DL)

個人目標と達成度

・目標

研修で学んだことを理解しながら、チームで協力して開発を進める

・達成度:90%

・理由

スケジュールよりも早いペースで開発を進められたからです

・反省点

機能実装時に自分の力だけでコードを書き上げることができず、チームメンバーにかなり助けられました。
また、DLとしての役目もチームメンバーに助けられました。

学んだ点と配属に向けての意気込み

・学んだ点

チーム開発において大切なことを学べたと感じました。

- ・チーム内のコミュニケーション
- ・チーム内での共通認識(目標、期限、情報など)
- ・読みやすいコーディング

・意気込み

まずは、初歩的なミスをしないようにしたいです。
研修で学んだことを配属後も活かして、業務を行えたらと思います。

渡辺 佑也(DBL)

個人目標と達成度

・目標

研修で学んだことを確認しながら、開発を進める

・達成度

90%

・理由

作業の時間でわからないことはチームの方に質問して開発を進めることができました。

・反省点

データベース作成時、基本ルールの学習不足とスペルミスがあり、正常に動作しないときがありました。

教科書を確認しながら開発を進めましたが、時間がかかりました。

学んだ点と配属に向けての意気込み

・学んだ点

確認して正確に記述することでスムーズに開発を進めることにつながると知りました。

チーム開発は進め方が複雑で、毎日どこまで進んだのか確認しながら、今後行う作業を明確にすることが大切だと学びました。

・意気込み

まずは、スペルミスなど初歩的なミスをしないようにしたいです。わからないこともあると思うので確認して業務を進めたいと思います。



ご清聴ありがとうございました